

2022年 11月 25日

## 小学生・中学生を対象にした「産婦人科・小児科オンライン」での オンライン医療相談の内訳と考察について



この度、株式会社 Kids Public（所在地：東京都千代田区、代表：橋本直也）が提供する産婦人科と小児科に特化したオンライン医療相談「産婦人科オンライン」「小児科オンライン」を用いて、小学生・中学生がオンライン医療相談でどのような相談を寄せるのかについて調査し、「第41回日本思春期学会総会・学術集会」にて学術口演を行いました。

本調査では、二箇所の自治体に同意を得て、小学校4年生から中学校3年生までを対象としたオンライン医療相談の利用傾向をまとめ、考察しました。

調査の結果、以下の知見が得られました。

- 小学生・中学生からのオンライン医療相談の内容は、医学的な事項に限らず、友人関係や学校生活など、相談内容は多岐にわたっており、特に医療機関では扱わない「交友関係」に関する相談が最多であった。
- オンライン医療相談は、10代の生徒にとって、家庭でも学校でもない「第三の場所」になれる可能性がある。
- 今後、対面診療や、既存の支援サービスを補完しうる可能性がある。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 Kids Public 広報室 電話 (03)6206-8803  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-14 神田新宮嶋ビル 4階  
<https://kids-public.co.jp/>

担当：春山

090-6657-9425  
marketing@kids-public.co.jp

## ■研究の概要

## 【目的】

小学生・中学生の子どもから「オンライン医療相談」に寄せられる相談内容の内訳を明らかにする

## 【実施期間】

2021年7月1日～2022年3月31日

## 【サービス告知対象者】

小学4年生～中学3年生 計2,499名（A県B市、C県D郡E町）

## 【研究方法】

## 《提供サービス》

○「産婦人科・小児科オンライン」が提供するオンライン医療相談サービス（小児科医および産婦人科医が対応）

- ・いつでも相談：相談に対して24時間以内に回答が届く一問一答のサービス
- ・夜間相談：平日18時から22時のうち、1回あたり10分相談可能
- ・LINE相談：LINEで24時間相談可能、1回あたりの質問数や時間に制限なし。24時間以内に応答するサービス



「夜間相談」と「いつでも相談」のサービスイメージ

## 《生徒の使用端末》

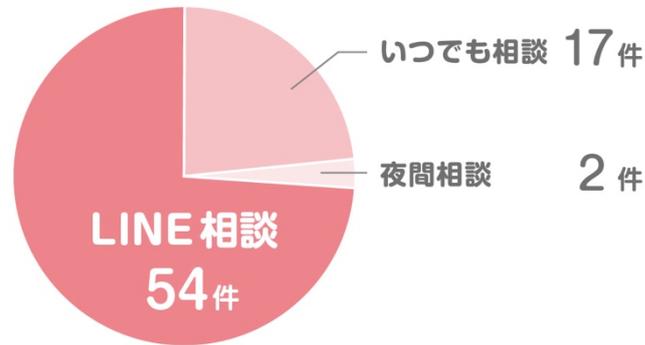
- ・Chromebook（学校から生徒全員に支給）
- ・スマートフォン（生徒、保護者の私物）

## 《分析方法》

- ・相談件数や内容は、カルテやチャット記録から後方視的に筆頭演者が分析した
- ・アンケートはサービス告知対象者全員に対して、ウェブフォームを用い、2022年2月～3月に実施・集計を行った

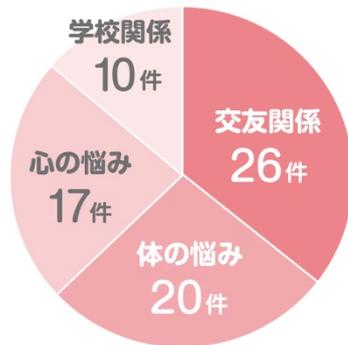
## ■研究結果

## 結果（相談形式）



相談形式 [件]  
 （相談人数 36人、のべ相談件数 73件）

## 結果（相談内容）



相談内容 [件]

名称	概要
交友関係	家族・友人 など 異性や特定のパートナーも含む
体の悩み	月経痛・月経不順、片頭痛、起立性調節障害、 睡眠障害 など
心の悩み	イライラ、抑うつ状態、性自認に関する悩み など
学校関係	不登校、登校拒否 など

※相談内容のうち、メインと思われるテーマを1つわりあてた

## 【結果と考察、そのポイント】

- ・利用された相談形式は、LINE 相談が最多でした。予約や会員登録が不要、メッセージの回数制限・時間制限がないという利用しやすさがあったと思われる。
- ・相談内容は多岐にわたっており、医療機関では扱わない「交友関係」に関する相談が最多であった。
- ・医学的な内容については、ファーストタッチが医療者であることで、適切な受診勧奨に繋げることができた。
- ・不登校の生徒について、生徒に同意を得た上で、相談内容を学校関係者と共有し、今後の支援に役立てることができた。
- ・オンライン医療相談は、10代の生徒にとって、家庭でも学校でもない「第三の場所」になれる可能性があると考えられる。
- ・今後より多くの生徒にオンライン相談を使ってもらうためには、スマートフォンを持っていないかったり、LINE を利用することができなかつたりする生徒も、利用できる仕組みが必要になる。

**■Kids Public 本研究責任者/小児科医 白井沙良子 コメント**

厚生労働省・健やか親子 21 でも「思春期のメンタルヘルス」は重要な課題と位置づけられています。一方で、コロナ禍で10代の自殺率は増加し、2020年には777人で過去最多、2021年も750人と高い水準で推移しています（参照：厚生労働省、令和3年中における自殺の状況）。「産婦人科・小児科オンライン」はこれからも、「身近な人ではないからこそ、気軽に・安全に相談できる場」を思春期の児童・生徒のみなさまに提供できるよう努めてまいります。

**■お問い合わせ先**

株式会社 Kids Public 広報室（担当：春山）

<https://kids-public.co.jp/>

**■所在地：**東京都千代田区神田小川町 1-8-14 神田新宮嶋ビル 4 階

**■TEL：**03-6206-8803

**■E-Mail：**[marketing@kids-public.co.jp](mailto:marketing@kids-public.co.jp)

**■設立日：**2015年12月28日

**■代表者：**代表取締役 橋本 直也（小児科医）

**■事業内容：**「子育てにおいて誰も孤立しない社会の実現」を理念とし、インターネットを通じて子どもの健康や子育てに寄り添う。

**■提供サービス：**

- ・ 遠隔健康医療相談サービス
  - 小児科オンライン <https://syounika.jp/>
  - 産婦人科オンライン <https://obstetrics.jp/>
- ・ 医療メディア
  - 小児科オンラインジャーナル <https://journal.syounika.jp/>
  - 産婦人科オンラインジャーナル <https://journal.obstetrics.jp/>
- ・ 問題解決 bot
  - くすりぼ：妊娠中～授乳中における薬の情報検索チャットボット